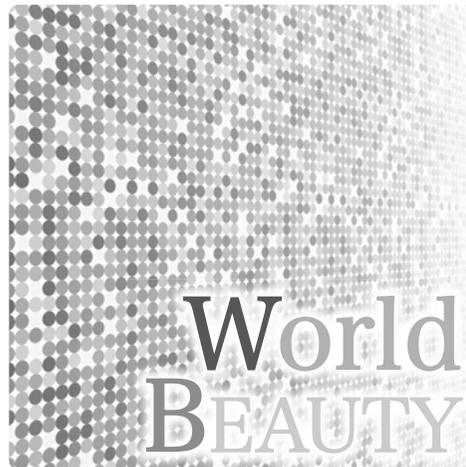


# ワールド・ビューティー・オープン (為替ヘッジあり)

追加型投信／内外／株式

作成対象期間：2022年6月10日～2022年12月9日

第 11 期 決算日：2022年12月9日



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざすとともに、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第11期末 (2022年12月9日)

基準価額	8,659円
純資産総額	4,715百万円
騰落率	+ 2.5%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	0円

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

**MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。



## ファンドマネージャーのコメント

当期の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

### 投資環境

世界の株式市況は、2022年7月米消費者物価指数（CPI）の伸びが予想以上に鈍化したことなどを受け、市場の利下げ織り込みが加速し株価が上昇する局面があったものの、米国の急速な金融引き締めによる景気後退懸念が強まったことから、下落しました。一方で、経済正常化による業績回復期待を背景に、ビューティー・ビジネス関連企業の株価は概ね堅調に推移しました。

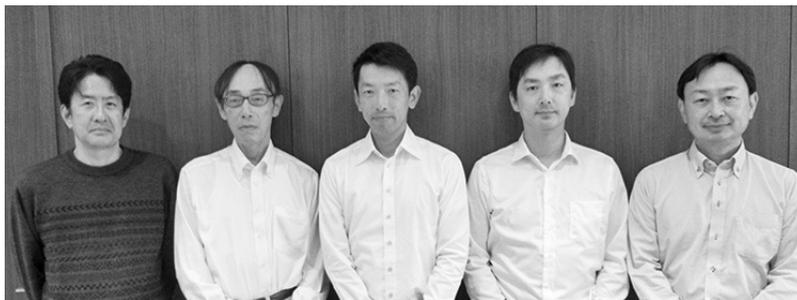
### 運用のポイント

世界的な高いブランド力や、高成長が続くオンライン、中国本土での販売力を重視し、引き続き「PROCTER & GAMBLE CO/THE」、 「ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A」、 「L'OREAL」などの欧米有力化粧品メーカーを上位に組み入れたポートフォリオを維持しました。中国の新型コロナウイルスに対する厳しい規制は徐々に緩和され、世界的には経済正常化の動きはさらに進んでいくものと見込んでいます。経済正常化が進む米国では大手化粧品小売りチェーンの売り上げが回復するなど、対面でのミーティングの増加や旅行需要の回復に伴ってメイクアップを牽引役とした化粧品需要や免税品販売の

回復も期待しています。また、化粧品業界でも「Z世代」の存在感が高まる中、SNSを中心としたデジタルマーケティングや環境を意識した商品開発に強みのある化粧品企業などにも注目しています。

### 運用環境の見直しおよび今後の運用方針

ビューティー市場は、高齢化によるアンチエイジング需要の高まりや、女性の社会進出など社会構造の変化、新興国での化粧文化の普及といった構造的な成長要因により、中長期にわたり着実な成長が見込まれる、という見方に変更はありません。短期的には、中国のゼロコロナ政策による中国人需要の低迷、インフレや景気後退による需要減少に対する懸念が残っています。しかしながら、経済正常化が進む米国に続き、足元では日本も外国人の入国規制緩和で旅行者が少しずつ戻ってくるなど、グローバルに経済正常化が進んでいけば、ビューティー市場はより安定的な成長の軌道に戻っていくものと予想しています。当ファンドでは、ビューティー市場の構造的な成長からの恩恵を享受すると考えられる企業を中心に投資を行います。また、ビューティー市場の動向を常に精査しながら、ポートフォリオの調整や新規銘柄の発掘などを行い、今後もパフォーマンスの向上に努めてまいります。



株式運用部  
ファンドマネージャー

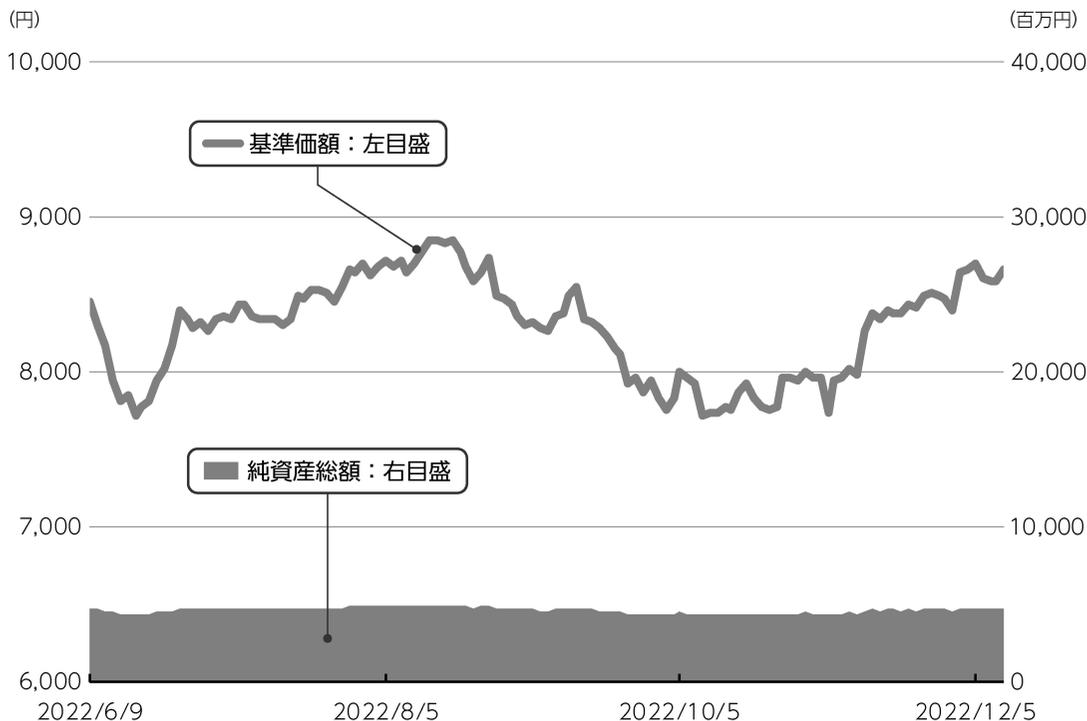
小島 直人      安井 陽一郎      柳原 武士      西 直人      秋元 政隆

# 運用経過

第11期：2022年6月10日～2022年12月9日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第11期首	8,448円
第11期末	8,659円
既払分配金	0円
騰落率	2.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.5%の上昇となりました。

### ▶ 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

組入銘柄（LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI、資生堂、L'OREAL）の値上がりなどを背景に基準価額は上昇しました。

2022年6月10日～2022年12月9日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	75	0.904	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(37)	(0.441)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(37)	(0.441)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.011	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(1)	(0.011)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.015	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(1)	(0.013)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	77	0.930	

期中の平均基準価額は、8,276円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

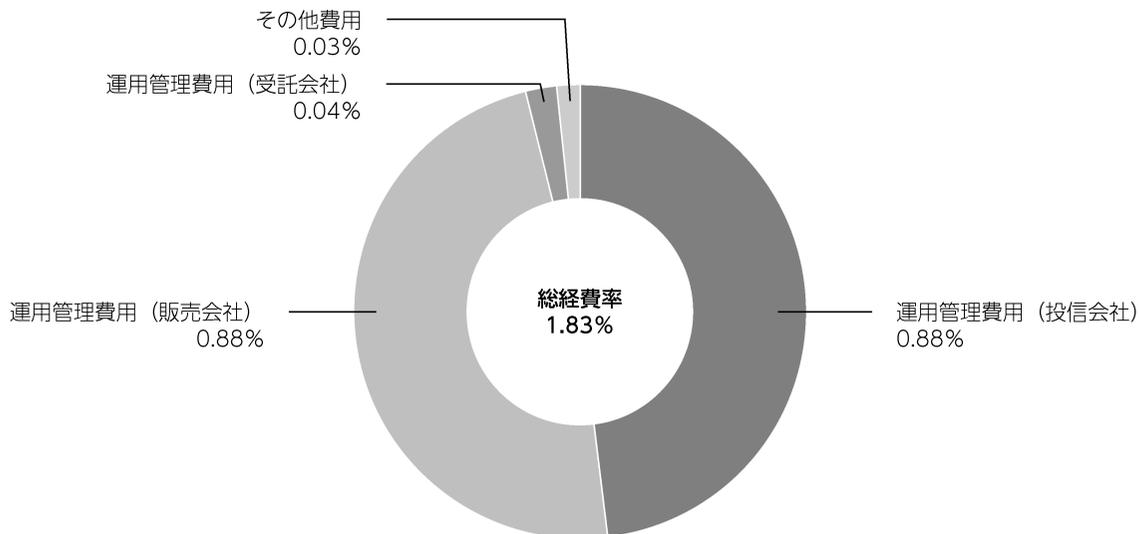
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.83%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年12月11日～2022年12月9日

### 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2017年12月11日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

### 最近5年間の年間騰落率

	2017/12/11 期初	2018/12/10 決算日	2019/12/9 決算日	2020/12/9 決算日	2021/12/9 決算日	2022/12/9 決算日
基準価額 (円)	10,001	8,857	9,817	10,000	10,000	8,659
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	766	280	951	1,525	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-4.7	13.9	11.6	15.8	-13.4
純資産総額 (百万円)	726	6,395	6,550	4,427	5,124	4,715

※ファンド年間騰落率は、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ▶ 投資環境について

### ▶ 株式市況

**世界の株式市況は下落しました。**

世界の株式市況は、2022年7月米消費者物価指数（CPI）の伸びが予想以上に鈍化したことなどを受け、市場の利下げ

織り込みが加速し株価が上昇する局面があったものの、米国の急速な金融引き締めによる景気後退懸念が強まったことから、下落しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかりました。

通貨別では、ユーロの比率を引き上げた一方、米ドルやスイスフランなどの比率を引き下げました。

組入銘柄数については、業績動向などから銘柄の売買を行い、期首、期末ともに35銘柄としました。

### ▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。

当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」などに着目した運用を行いました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

環境を意識した商品ラインアップや価格競争力、SNSを中心としたマーケティング手法によりZ世代から絶大な支持を受け、長期にわたる高成長が期待できる米国化粧品メーカーの「ELF BEAUTY INC」の新規組み入れを行いました。

矯正治療領域における厳しい競争環境などから長期の成長持続性が懸念されたため、セルフ矯正治療のサポートを提供する「SMILEDIRECTCLUB INC」を全売却しました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第11期
	2022年6月10日～2022年12月9日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	350

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

### ▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

ビューティー市場は、高齢化によるアンチエイジング需要の高まりや、女性の社会進出など社会構造の変化、新興国での化粧文化の普及などによって中長期にわたり着実な成長が見込まれます。短期的には、中国のゼロコロナ政策による中国人需要の低迷、インフレや景気後退による需要減少に対する懸念が残っています。しかしながら、経済正常化が進む米国に続き、足元では日本も外国人の入国規制緩和で旅行客が少しずつ戻ってくるなど、グローバルに経済正常化が進んでいけば、ビューティー市場はより安定的な成長の軌道に戻っていくものと予想しています。株式市況については、インフレ懸念や景気動向への不透明感、地政学リスクを背景に神経質な値動きが続くと見込まれますが、徐々に業績を反映した相場展開に戻ると考えております。

こうした投資環境のもと、当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新

しい販売手法」などに注目しています。ビューティー関連製品は、直接肌につけるタイプの商品が多いため、相対的に価格が高かったとしても品質や安全性が高い、欧米や日本の大手化粧品メーカーの商品が選好されやすい市場です。また、新興国における化粧品の一人当たり消費額は依然として低く、化粧文化の普及による市場拡大の余地は非常に大きいと考えています。そのため、当ファンドでは、高いブランド力を持つのはもちろんのこと、新興国の需要を着実に取り込んでいる企業に着目しています。

近年では、スマートフォンなどの普及によって、オンライン販売が大きく伸びているだけでなく、アプリを利用した個人の肌質や好みに合わせた化粧品の提案が可能となり、各社の対応力が試されています。こうした新しい販売手法を効果的に活用している企業にも注目しています。当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、ビューティー市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、ビューティー市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

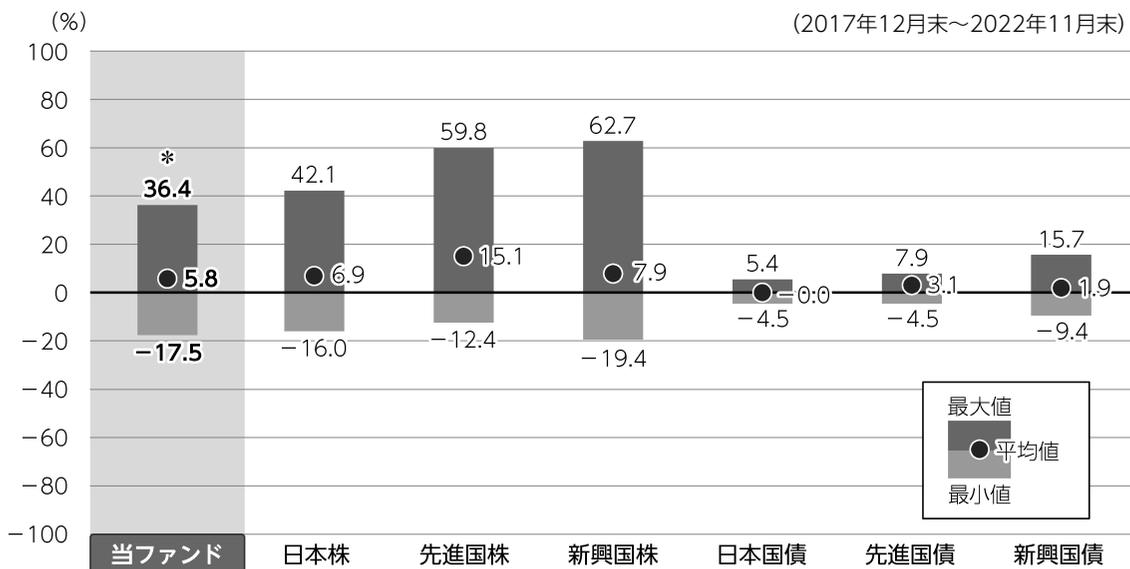
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2027年6月9日まで（2017年7月31日設定）
運用方針	<p>ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ワールド・ビューティー・マザーファンド 日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。</p>
運用方法	<p>日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。</p>
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）</p>

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年12月から2022年11月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

\*ファンドについては2018年7月～2022年11月の同様の騰落率を表示したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2022年12月9日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

（組入銘柄数：1銘柄）

ファンド名	第11期末 2022年12月9日
ワールド・ビューティー・マザーファンド	99.9%

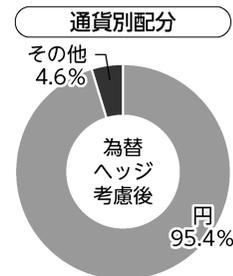
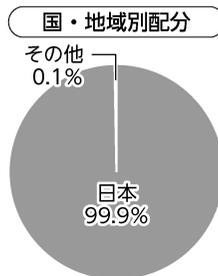
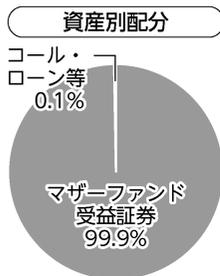
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第11期末 2022年12月9日
純資産総額 (円)	4,715,235,673
受益権口数 (口)	5,445,286,390
1万口当たり基準価額 (円)	8,659

※当期中において追加設定元本は214,279,830円  
同解約元本は 346,899,115円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先として他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】は、組入ファンドの発行地を表示しています。

291369

2022年12月9日現在

## 組入上位ファンドの概要

### ワールド・ビューティー・マザーファンド

#### 基準価額の推移

2022年6月9日～2022年12月9日



#### 1万口当たりの費用明細

2022年6月10日～2022年12月9日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料 (株式)	2 (2)	0.011 (0.011)
(b)有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c)その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.008 (0.008)
(その他)	(0)	(0.000)
<b>合計</b>	<b>3</b>	<b>0.019</b>

期中の平均基準価額は、17,075円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

### 組入上位10銘柄

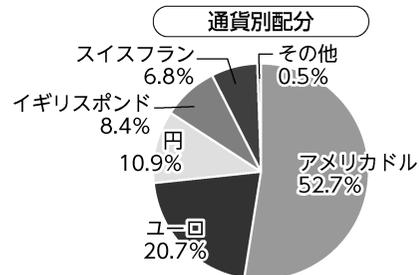
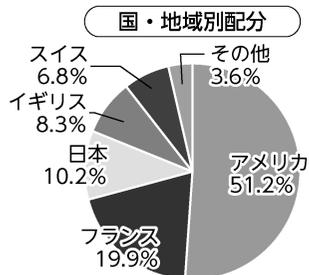
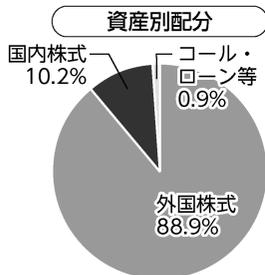
(組入銘柄数：35銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	L'OREAL	株式	フランス	家庭用品・パーソナル用品	8.6
2	PROCTER & GAMBLE CO/THE	株式	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	8.2
3	ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	株式	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	8.1
4	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	株式	フランス	耐久消費財・アパレル	8.0
5	COLGATE-PALMOLIVE CO	株式	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	6.8
6	ULTA BEAUTY INC	株式	アメリカ	小売	5.8
7	UNILEVER PLC	株式	イギリス	家庭用品・パーソナル用品	5.4
8	APTARGROUP INC	株式	アメリカ	素材	4.4
9	ファンケル	株式	日本	化学	4.4
10	資生堂	株式	日本	化学	4.1

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
 ※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI（国債）

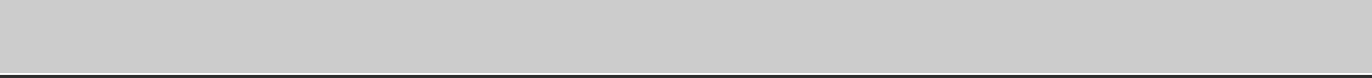
NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信